

はじめに

この度、岐阜経済大学地域経済研究所の平成8年度の研究活動の成果をまとめた「地域経済」第17集を刊行する運びとなりました。

当研究所では、東海地方を中心とした地域経済や社会、文化に関する共同研究をはじめ、公開講演会、現地調査、研究会などの活動を進めております。

平成8年度は「繊維・アパレル共同研究プロジェクト」およびソフトピア・ジャパンとの共同研究「岐阜県地域産業の経営課題と情報ネットワーク戦略に関する研究」の二つの共同研究プロジェクトを中心に、長野県坂城町の地域産業集積に関する現地調査、神岡鉱山およびイタイイタイ病対策協議会の視察などを行い、一般市民の方々にもご参加いただき公開講演会、各種の研究会を実施しました。

こうした活動のうち、本号ではソフトピア・ジャパンと地域情報化および坂城町の地域産業集積に関する論文をまとめて、特集「地域情報化と地域産業集積」とし、日頃協力しつつ研究を進めている共立総研の松永健氏の企業と都市の活性度に関する調査報告、東北ヒロセ電機に関する個人研究、神岡鉱山とそこに併設されている宇宙線観測施設「スーパー・カミオカンデ」の視察報告、金沢大学教授佐々木雅幸氏にお願いした公開講演会の記録などを収録することにいたしました。

なお、「繊維・アパレル共同研究プロジェクト」については、プロジェクトが完結する来年度に、特集として取り上げることをしております。

以上平成8年度の研究活動の一端をまとめて、お届けいたします。今後とも所員一同研究に励んでいく所存でございます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

岐阜経済大学
地域経済研究所長
間仁田幸雄